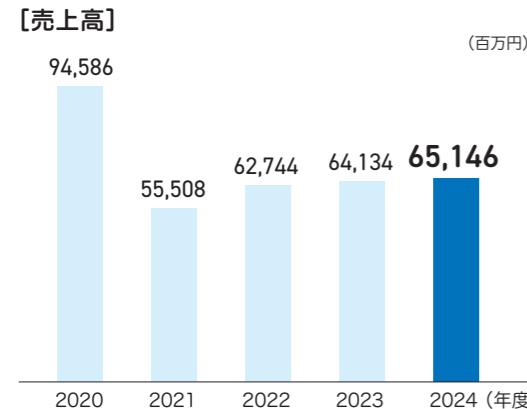


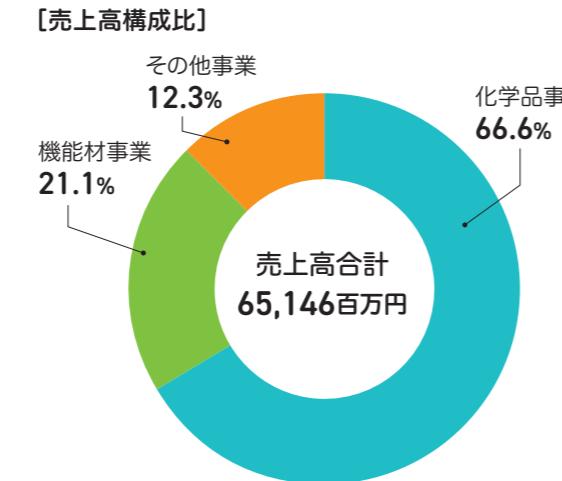


## 事業概況

### At a Glance



※2021年度より「収益認識に関する会計基準」を適用



### 開示セグメント

#### 化成事業

主として無機薬品や有機薬品を、化学や紙パルプ、食品・洗剤、官公庁等、様々な市場へ販売しています。中でも主力のか性ソーダは、主要拠点に自社タンクを設け、お客様の要望に迅速に応えられる機能を保持しており、国内トップクラスのシェアを誇ります。また、近年は“社会と化学のコーディネート”をモットーに、薬品リサイクルシステムの構築や低公害薬剤の提供等に積極的に取り組んでいます。

商品群等 | ソーダ関連薬品 その他の無機薬品 有機薬品 他



#### 機能材事業

主として合成樹脂や機器・材料を、食品や樹脂加工、電機等、様々な市場へ販売しています。機能材料では、石油化学製品の原料から電子材料等汎用製品、高機能性樹脂製品まで幅広く提供しています。包装関連製品では、パッケージに関する原料及びフィルム基材やラミネート製品の販売のほか、殺菌・冷却機・包装機等製造システムの提案も行っています。その他、環境関連製品や防災関連の機器類等も扱っています。

商品群等 | 包装関連製品 合成樹脂関連製品 設備・工事・産業材料 他



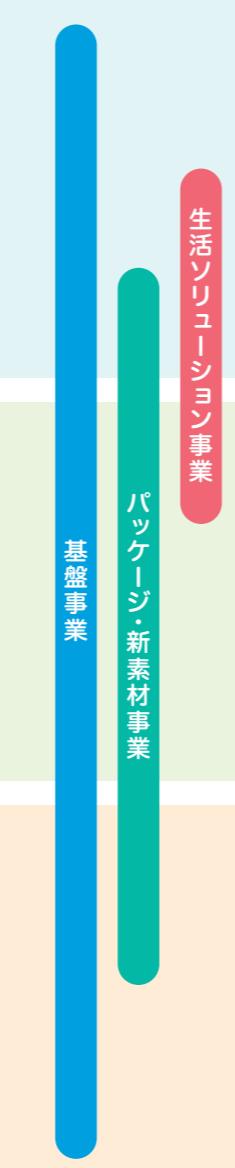
#### その他事業

主に国内外のグループ会社と、全国4カ所のケミカルセンターの事業を指します。国内の取扱商品は、無機・有機薬品を始め、半導体薬品、化粧品原料、触媒等の高機能薬品、各種機能樹脂製品、包装材料、工作機械等、多岐にわたります。海外は、中国・インドネシア・ベトナムに拠点を有し、工業薬品類や機能性材料等の販売に注力。各種商品の輸出入に加え、海外進出のお手伝いや商材の発掘等にも取り組んでいます。

商品群等 | 連結子会社8社、賃貸収入



#### 中計事業区分



## 化成事業

化成事業では、無機・有機薬品を幅広く取り扱っています。無機薬品は、様々な産業分野に浸透し、姿形を変え、衣食住に係るほぼ全ての製品に関係しています。ソーダ製品をはじめとする基礎化成品をお客様のニーズに合わせ最適な物流手段で提供しています。ソーダ製品においては、国内の全メーカーと取引実績があり、安定供給に貢献しています。有機薬品は、石油化学製品のほか、各種溶剤からエンジニアリング・電子材料用途のファインケミカル製品まで幅広く扱い、化成業界・樹脂業界などあらゆる市場に提供しています。

2024年度、当事業は広島大野ケミカルセンターの増強によるエレクトロニクス業界向けの薬品取引が伸長したことを筆頭に各取引が好調に推移し、増益となりました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移は以下の通りです。

#### ソーダ関連薬品

好調に推移しました。主力のか性ソーダは、エレクトロニクス業界向けの需要伸長により、取引が増加しました。炭酸ソーダは窯業向けの販売数量回復等により、取引が増加しました。塩化カルシウムは冬季の降雪の影響により融雪用途需要が増加し、取引増加となりました。

#### その他の無機薬品

好調に推移しました。アルミニウム化合物と鉄化合物は、水質処理用途の受注拡大等により取引が増加しました。硫酸は、食品業界向けに取引が増加しました。

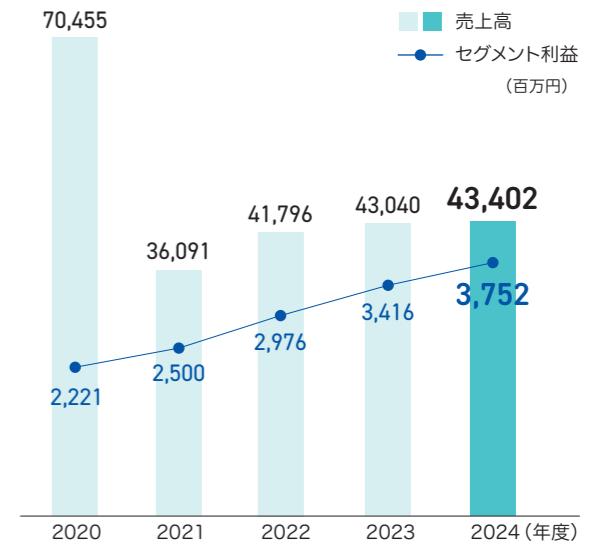
#### 有機薬品

堅調に推移しました。フッ素系溶剤は一部ユーザーの在庫調整等により、取引が減少しました。その他のファインケミカルは電子材料向けの新規採用等により、取引が増加しました。

#### その他の商品群

日用品向けのトイレタリー関連商品(石鹼・洗剤)が受注好調により、取引が増加しました。

#### 売上高とセグメント利益



#### 売上高

2023年度に比べ0.8%増の43,402百万円

#### セグメント利益(営業利益)

2023年度に比べ9.9%増の3,752百万円



#### 強み

- 長年培ってきた化成品の知見と取引基盤
- 顧客ニーズに適したグローバルなサプライチェーン構築力

#### 機会

- 法規制を背景とした製品・設備の提供
- 新興国を中心とした需要増
- 業界の構造革新に伴う新たな原料需要の拡大
- 人手不足を背景とした施工や物流革新ニーズ
- 社会インフラ更新需要の増加

- 川上から川下まで広がる幅広い取り扱い商材
- ケミカルセンターを活用した地域・顧客対応力

#### リスク

- 業界再編・事業撤退、人口減少による国内需要の縮小
- 原料の供給不安と価格の乱高下
- グローバルな業界再編への対応
- 物流の機能不全による供給不安や価格の高騰

## 機能材事業

機能材事業では、国内外で素材から完成品まで様々な提案営業をしています。機能材料では、各素材樹脂の販売はもとより、成形品の設計・金型製作から製品組立まで一貫受注します。包装関連資材では、パッケージに係る基材の販売だけではなく、デザインや包装設計の提案、OEM製造も担い、包装機器の導入もサポートします。また、環境関連では、排ガスや排水処理機器の販売から設置までをサポート。企業産廃物の有効活用として、回収・リサイクル装置の立案から実行まで手掛けています。低炭素社会の実現のために再生可能エネルギー事業にも参入し、周辺機器への積極的な展開を図っています。

2024年度、当事業は中国向けナイロンフィルムの市場動向や樹脂関連の製品価格高騰などの影響を受け、低调に推移しました。セグメント利益への影響を基準とした、商品群別の取引推移は以下の通りです。

### 包装関連商品(フィルム、容器、包装関連機器等)

2023年度並みに推移しました。ナイロンフィルムは海外需要の落ち着きにより、取引が減少しました。複合フィルムは食品業界向けが、包装用フィルム・シートは輸出向けの需要が伸長し、取引が増加しました。

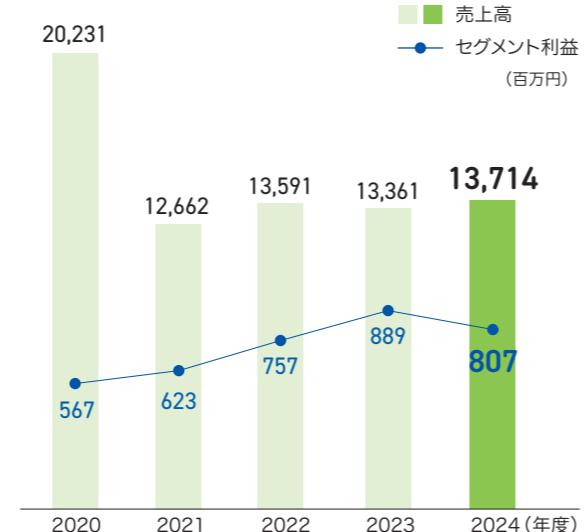
### 合成樹脂関連商品(樹脂原料、添加物、成形品等)

やや低调に推移しました。ガラス短纖維及び物流容器は、スポット案件の受注減少により、その他の熱可塑性樹脂は、供給契約終了に伴い取引が減少しました。一方、工業用製品は新規案件受注により取引が増加しました。

### 設備・工事・産業材料

低调に推移しました。エレクトロニクス材料は取引が増加したもの、機械器具設置工事は案件が減少しました。

### [売上高とセグメント利益]

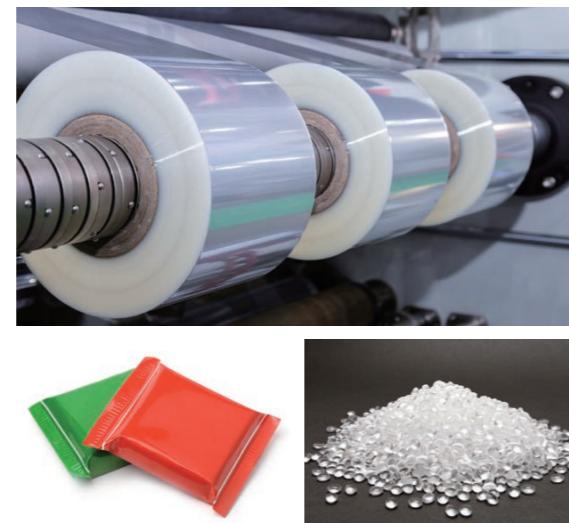


#### 売上高

2023年度に比べ2.6%増の13,714百万円

#### セグメント利益(営業利益)

2023年度に比べ9.3%減の807百万円



## その他事業

その他事業では、主に国内外の連結グループ会社による事業を営んでいます。国内グループ会社では、ソーダニッカビジネスサポート株式会社は、当社からの受託業務や倉庫・運送業を行っています。株式会社日本包装は関西・中国地区を中心に、包装資材の加工販売を行っています。モリス株式会社は、ベトナムからの商品輸入やベトナムに進出する企業のコンサルティング業務を行っています。株式会社日進は、中部・関西・北陸地区を中心に、包装資材・機器等の販売を行っています。株式会社野津商店は、山陰地区を中心に、化学工業薬品や食品添加物等の販売を行っています。

海外グループ会社では、曹達日化商貿(上海)有限公司は、主に中国市場における化学工業薬品・機能材等の販売や日本への輸出を行っています。PT.SODA NIKKA INDONESIAは、主にインドネシア市場における化学工業薬品・合成樹脂関連製品等の販売や日本への輸出を行っています。SODA NIKKA VIETNAM CO., LTD.は、主としてベトナム市場における包装関連製品等の販売や日本への輸出に取り組んでいます。

2024年度、当事業は設備投資に伴う諸経費増加の影響により、減益となりました。国内と海外のグループ会社の取引推移は以下の通りです。

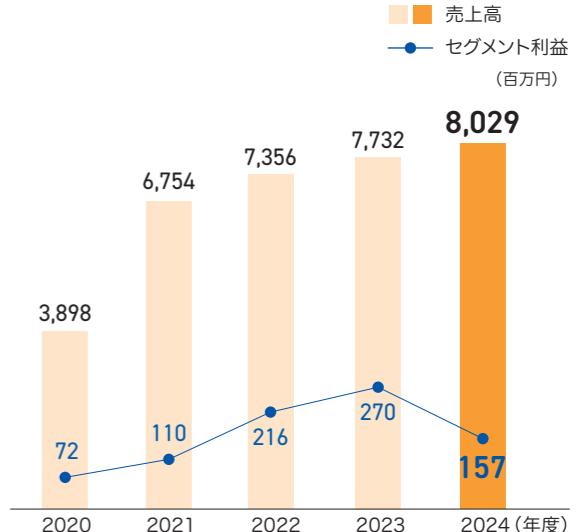
### 国内グループ会社

化学品業界や食品業界を中心に、主要取引先の需要が増加しました。また、旅行需要の回復の影響等により関連商材の取引が好調となりました。一方、株式会社日本包装の新本社工場立ち上げに伴い諸経費が増加しました。

### 海外グループ会社

ベトナムでのフィルム関連取引の新規案件獲得や日本向け輸出が好調に推移しました。一方で、中国では国内景気の減速に伴い取引が低迷しました。

### [売上高とセグメント利益]



#### 売上高

2023年度に比べ3.8%増の8,029百万円

#### セグメント利益(営業利益)

2023年度に比べ41.7%減の157百万円



### 強み

- ・長年培ってきた包材・機能商品の知見と顧客基盤
- ・全国の顧客に対応できる包材サプライチェーン網

### 機会

- ・地球規模での、環境保全や温暖化抑制意識のさらなる高揚
- ・社会課題解決のための、異業種間でのコンソーシアムの形成
- ・新興国市場の生活水準向上による、日本製高機能商材の需要拡大
- ・食品廃棄抑制や省人化に資する、日本製機器類の商機拡大

### リスク

- ・設備の老朽化が招く、国内メーカーのグローバル競争力の低下
- ・貿易関税や為替の変動が招く、貿易取引に対する警戒感
- ・内製回帰やインバウンド対応が招く、国内労働力不足の顕在化

### 強み

- ・食品分野に強い印刷加工会社、医薬・健康分野に強い包装材料販売会社を運営
- ・山陰地区に化学品と食品添加物事業に強みを持つ販売会社を運営
- ・海外(東アジア)において在庫機能も有する法人を運営

### 機会

- ・消費者の安心安全ニーズの高まり
- ・消費者の健康ニーズやペットブームのさらなる拡大
- ・海外での生活水準向上に伴い、多様化する市場欲求

### リスク

- ・新興国からの安価な印刷ラミネート加工品の輸入攻勢
- ・国内ワンストップ物流におけるコストの高騰
- ・中国・インドネシア・ベトナムにおける活動規制
- ・米国関税政策の影響による中国やASEAN諸国からの対米輸出量の減少